

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 オーウイル株式会社

上場取引所 大

コード番号 3143 URL <http://www.owill.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小口 英器

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 栗野 恵介

TEL 03-5772-4488

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,314	△2.6	138	13.2	152	19.1	94	270.6
24年3月期第1四半期	7,510	—	122	—	128	—	25	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 95百万円 (666.4%) 24年3月期第1四半期 12百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	29.93	—
24年3月期第1四半期	8.08	—

(注) 平成23年3月期第1四半期は連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	9,148	1,480	15.7	454.58
24年3月期	7,410	1,481	19.4	457.14

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,431百万円 24年3月期 1,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,274	4.4	213	△13.2	213	△15.4	127	157.7	40.35
通期	28,000	5.9	360	△18.1	360	△18.8	210	32.5	66.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
 - ④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	3,150,000 株	24年3月期	3,150,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	82 株	24年3月期	82 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	3,149,918 株	24年3月期1Q	3,149,957 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要などにより景気は緩やかながらも回復傾向にあります。欧州債務危機や海外景気の減速に加えて、電力供給の制約など企業収益の下振れ懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品飲料業界におきましても、消費者マインドの改善傾向は若干見られるものの、今後の景気回復への不安材料から個人消費は引き続き低調に推移しており、経営環境は厳しい状態が続いております。

このような状況下、当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な食品原料及び資材の供給を継続し、サービスの向上に努める一方、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行うなど、取扱品目の増加や取引先の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,314,380千円（前年同期比2.6%減）、営業利益は138,115千円（前年同期比13.2%増）、経常利益は152,847千円（前年同期比19.1%増）、四半期純利益は94,273千円（前年同期比270.6%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、国内市場が飽和状態であることから企業再編やグローバル展開が加速し、企業間の競争は激化しております。このような状況下、当社グループは、取引先のニーズに応えるべく、国内外から原料資材の確保に努め、安定供給体制を維持する一方、取引先の拡大や利益率改善に努めてまいりました。飲料メーカーの夏季向け商品の製造増加に伴い、ビタミン類、糖類及び香料等の食品副原料の販売は好調に推移し、売上総利益は増加したものの、前年同期の震災の影響による需要が当期はなくなり、主要顧客の製造数量が前年同期に比べ減少したことにより、売上高は7,164,263千円（前年同期比3.1%減）となりました。

<製造販売事業>

安心で安全な商品をお客様にお届けするために、品質管理面の強化に注力する一方、NBブランドの強化を図るため、「やさしいあいすくりむ」のバリエーションを増やし、販売チャネル拡販に努めてまいりました。加えて、お客様のニーズに合わせたPB商品の販売を積極的に行ったことにより販売数量が大幅に増加し、売上高は153,112千円（前年同期比32.4%増）となりました。

<その他>

その他においては、コンビニエンス事業がありますが、前年同期に比べ店舗数が1店舗増加したことや店舗運営の効率化に努めた結果、収益力が改善し、売上高は184,700千円（前年同期比31.3%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,752,779千円増加し、8,326,000千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ14,751千円減少し、822,252千円となりました。主な要因は、投資その他の資産の減少によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,738,027千円増加の9,148,252千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,615,493千円増加し、7,137,368千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ123,411千円増加し、529,961千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,738,905千円増加し、7,667,329千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ877千円減少し、1,480,923千円となりました。主な要因は配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,182,775	1,234,368
受取手形及び売掛金	4,026,719	5,241,060
商品及び製品	720,782	1,070,163
未着商品	332,992	404,698
原材料及び貯蔵品	14,663	19,192
未収入金	226,463	248,150
繰延税金資産	31,652	17,644
その他	42,702	96,501
貸倒引当金	△5,530	△5,780
流動資産合計	6,573,221	8,326,000
固定資産		
有形固定資産	340,720	346,921
無形固定資産	6,519	5,771
投資その他の資産	489,763	469,558
固定資産合計	837,003	822,252
資産合計	7,410,224	9,148,252
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,571,060	6,146,672
1年内返済予定の長期借入金	128,772	168,756
未払金	574,707	669,616
未払法人税等	153,466	40,432
賞与引当金	40,881	25,500
その他	52,987	86,391
流動負債合計	5,521,875	7,137,368
固定負債		
長期借入金	345,897	470,388
資産除去債務	4,928	4,949
その他	55,724	54,624
固定負債合計	406,549	529,961
負債合計	5,928,424	7,667,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	288,387
利益剰余金	811,165	808,714
自己株式	△40	△40
株主資本合計	1,462,899	1,460,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25,776	△29,275
繰延ヘッジ損益	2,838	27
為替換算調整勘定	—	682
その他の包括利益累計額合計	△22,938	△28,564
少数株主持分	41,839	49,039
純資産合計	1,481,800	1,480,923
負債純資産合計	7,410,224	9,148,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	7,510,424	7,314,380
売上原価	6,928,898	6,688,486
売上総利益	581,525	625,894
販売費及び一般管理費	459,501	487,778
営業利益	122,024	138,115
営業外収益		
受取配当金	1,617	1,294
為替差益	5,037	14,522
受取手数料	1,657	1,657
受取補償金	523	1,082
貸倒引当金戻入額	—	850
その他	335	1,540
営業外収益合計	9,170	20,947
営業外費用		
支払利息	2,746	2,876
支払補償費	23	3,099
その他	87	238
営業外費用合計	2,856	6,214
経常利益	128,338	152,847
特別利益		
固定資産売却益	—	3,133
店舗改装支援金	3,000	—
特別利益合計	3,000	3,133
特別損失		
貸倒引当金繰入額	82,004	—
その他	3,119	—
特別損失合計	85,124	—
税金等調整前四半期純利益	46,213	155,981
法人税、住民税及び事業税	52,630	38,706
法人税等調整額	△27,547	15,801
法人税等合計	25,083	54,508
少数株主損益調整前四半期純利益	21,130	101,472
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,308	7,199
四半期純利益	25,438	94,273

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,130	101,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,333	△3,498
繰延ヘッジ損益	△7,291	△2,810
為替換算調整勘定	—	682
その他の包括利益合計	△8,625	△5,626
四半期包括利益	12,505	95,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,813	88,647
少数株主に係る四半期包括利益	△4,308	7,199

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,334,438	35,284	7,369,722	140,701	7,510,424	—	7,510,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,537	80,398	141,935	—	141,935	△141,935	—
計	7,395,975	115,682	7,511,658	140,701	7,652,360	△141,935	7,510,424
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	137,069	△8,271	128,797	△6,102	122,694	△670	122,024

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△670千円は、セグメント間取引消去△670千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,091,740	37,939	7,129,679	184,700	7,314,380	—	7,314,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72,522	115,173	187,695	—	187,695	△187,695	—
計	7,164,263	153,112	7,317,375	184,700	7,502,075	△187,695	7,314,380
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	125,937	18,338	144,276	△6,408	137,868	247	138,115

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額247千円は、セグメント間取引消去247千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。